

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和2年度第1回小金井市消防団運営審議会		
開 催 日 時		令和2年11月13日(金) 18時30分～19時15分		
開 催 場 所		小金井市役所 第一会議室(本庁舎3階)		
出 席 者	委員	安田孝昭・野口和史・田中康夫・當麻圭治郎・岸野静夫・鈴木成夫・遠藤百合子・渡辺大三・田村裕一・住野英進・大橋一朗		
	その他	西岡真一郎		
	事務局	加藤明彦・宮奈勝昭・原嶋薫・大久保圭祐・福山悠太		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		1 消防団員の改選結果について 2 令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について 3 令和2年度消防費予算について 4 その他		
会 議 結 果		会議次第にそって、下記提出資料の説明・報告を行った。		
提 出 資 料		1 小金井市消防団運営審議会委員名簿 2 小金井市消防団員改選事務日程表 3 小金井市消防団員名簿 4 令和2年度小金井市消防団員改選結果について 5 令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について 6 令和元年度月別消防団員出動状況 7 令和2年度消防費予算について		
そ の 他				

審議経過（主な発言要旨等）

議題及び審議結果

事務局：会議開会にあたりまして、事務局より事務連絡を2点させていただきたいと思っております。まず1点目につきまして、欠席委員の関係でございます。今回は欠席委員がございませんので、半数以上の方が出席しているということでございますので、会議は成立していると申し上げさせていただきます。それから2点目でございます。事務局より人事異動がございましたので、ご報告させていただきます。私4月1日付けで地域安全課長に着任しました宮奈と申します。どうぞよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。それでは会長、よろしくお願いいたします。

会長：はい。マスクしたまま申し訳ございません。会長の安田でございます。本日は大変お忙しいところ、またこのような状況の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、今年も団員の推薦にあたりましては皆様にご多大なるご協力をいただきましたことを会長として御礼を申し上げたいと思っております。ありがとうございます。それでは只今から、令和2年度第1回小金井市消防団運営審議会を開催したいと思っております。皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。それでは開催させていただきます。前回の会議以降、新しい委員の方がいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。初めに、令和元年12月25日付けで任命いたしました遠藤百合子委員でございます。

遠藤委員：はい。よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。続きまして、令和2年4月1日付けで委員に任命いたしました田村委員でございます。

田村委員：はい。4月1日に消防団長に就任しました田村です。今日のこの会議、もう少し早くお会いできるつもりでいたんですけど、こういった事情があったものですから、逆にちょっと楽しみにして来ました。よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。続きまして、令和2年4月1日付けで委員に任命いたしました大橋委員でございます。

大橋委員：はい。大橋でございます。ひとつよろしくお願いいたします。3月まで練馬区にございます石神井消防署で副所長をやっておりました。若輩者ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。続きまして、本日の資料及び議題について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：はい。事務局でございます。着座にて失礼いたします。まず、配布資料の確認でございます。事前にお配りさせていただきました資料でございまし

て、まず資料1、小金井市消防団運営審議会委員名簿、A4一枚の資料でございます。それから資料2、小金井市消防団員改選事務日程表、こちらもA4一枚の資料でございます。それから資料3、小金井市消防団員名簿、こちらもA4一枚の資料でございます。それから資料4、令和元年度小金井市消防団員改選結果について、こちらもA4一枚の資料でございます。それから資料5、令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について、こちらもA4一枚の資料でございます。それから資料6、令和元年度月別消防団員出動状況、こちらA4で横の資料でございます。それから最後に資料7、令和元年度消防費予算について、こちらもA4一枚の資料でございます。以上、過不足等ございましたら事務局までよろしくお願いたします。次に、本日の議題の進行についてでございます。今回の議題は全て報告事項となりまして、特段諮問事項についてはございません。まず議題(1)、消防団員の改選結果について、資料に沿ってご報告させていただきます。続きまして議題の(2)、令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について、資料に沿ってご報告させていただきます。次に議題の(3)、令和2年度消防費予算について、資料に沿ってご報告させていただきます。その後、(4)のその他の部分につきましては、今年度の消防団の主な活動状況について、口頭にてご報告させていただければと考えてございます。事務局からは以上でございます。

会 長：ありがとうございます。資料は皆さん大丈夫でしょうか。
それでは議題に先立ちまして、市長から挨拶を申し上げます。市長、お願いいたします。

市 長：皆さまこんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。本日は大変お忙しい中、令和2年度第1回小金井市消防団運営審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、安田会長をはじめ委員の皆さま方におかれましては、日頃より小金井市のため、また消防団の安定的な運営の為に日々ご尽力をいただいておりますことに改めて御礼と感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。皆さまご承知のように本年4月1日から田村新団長が就任し、新たな消防団が発足をしたところでございます。新型コロナウイルスの急速な感染拡大の最中での発足ということで団長をはじめ団員の皆さまは大変ご苦労されたことと思います。しかしながらコロナ禍にあっても12万市民の生命、身体、財産を守るためにまさに昼夜を問わず、消防署の方々とも連携をしながら様々な活動や訓練を創意工夫をしながら尽力をいただいておりますところでございます。私からも改めて消防団の方々に御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。さて、去る11月4日には、都知事褒賞の受賞式が行われました。小金井

市消防団並びに船田知孝第2分団長が受賞されました。改めまして、おめでとうございます。日頃の厳しい訓練、そして熱心な活動の成果の賜物であり、お喜び申し上げます。さて、11月1日には小金井市総合防災訓練を開催させていただきました。新型コロナウイルス感染症対策下における避難所開設訓練を実施するとともに、なかなか実施ができていなかった小金井市災害対策本部の設置、運営訓練を行いました。そして消防団の皆さま方におかれましては、小金井消防署と連携した震災時の図上訓練を実施していただきまして、全部で5つの会場で様々な訓練を行ったところでございます。こういった訓練の成果を引続き小金井市の防災行政にしっかり活かしていけるよう取り組んで参りたいと考えております。また昨年、一昨年と冬場の時期を中心に火災も発生した経緯がございます。寒い冬をこれから迎えて参りますが、いよいよ火災の発生も危惧される季節であります。11月9日から11月15日までは全国秋の火災予防週間ということで、防火への必要性につきまして全国レベルで様々な啓発活動が行われております。11月15日の日曜日には、9時40分頃市役所を出発いたしますが、午前中巡行広報を行いまして、小金井消防署、小金井市消防団の方々とは力を合わせまして市民の皆様に防火の呼びかけをしっかりと行って参りたいと考えております。引続き、消防団運営審議会の委員の皆さま方のお声をいただきながら、市民の皆さま方の生命、身体、財産を守るため、地域防災の要である消防団の皆さまと消防署の方々など関係機関と力を合わせまして、全力で取り組んでまいり所存です。また、委員の皆さま方におかれましても、新型コロナウイルス感染対策、また寒い季節を迎えますので、どうぞくれぐれも体調管理にはご留意いただきたいと思います。それでは、本日のご審議のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

会 長：市長ありがとうございます。市長は公務多忙の為、ここで退席させていただきます。

市 長：それでは皆さまよろしくお願いたします。

会 長：それでは本日の議題に入ります。議題1の「消防団員の改選結果について」を議題といたします。それでは事務局より説明をお願いいたします。

事 務 局：それでは消防団員の改選結果につきまして、資料2から資料4までを一括して順にご説明させていただきます。まず、資料2の「小金井市消防団員改選事務日程表」をご覧くださいと思います。令和元年度につきましては、7月29日に消防団運営審議会を開催させていただき、消防団員の改選方法につきまして、諮問をさせていただいたところがございます。その後、9月25日に従前の方法での消防団員改選事務を行う旨の答申をいただきましたことから、答申ならびに当該資料の日程表に基づいた中で、

消防団員推薦委員の手続きを行い、10月29日から11月22日までのうちの5日間、改選説明会を開催させていただきました。そして、年が明けた1月27日に現職の団員の皆様に市長名で、留任の依頼書を送付させていただきました、最終的には、各5個分団の消防団員候補者名簿が、3月下旬に整ったという状況でございました。これに基づきまして、コロナ禍ではございましたが、4月1日に参加者を幹部団員に絞った形で団員67名の辞令交付式、同じく参加者を退団者に絞った形で7月9日に退団式を開催させていただいたところでございます。今回の改選では、11名の団員さんが3月31日付けで退団され、前期の欠員補充分も含めまして、8名の新団員が入団したところでございます。4月1日当初は、田村団長のもと本団4名を含めます、総勢67名でスタートしたところでございます。その後、5月に新たに2名の方が入団し、6月に2名が退団し、7月には1名の退団者があり、11月1日時点で66名となっているところでございます。各分団の団員につきまして、資料のとおり、第1分団につきましては10名、第2分団につきましては13名、第3分団につきましては13名、第4分団につきましては11名、第5分団につきましては15名で組織運営をしているところでございます。なお、第5分団を除く各分団の欠員につきましては、現在も引き続き、団員の募集をさせていただいているという現状でございます。続きまして、資料4をご覧くださいと存じます。団員の平均年齢につきましては、全員で計算しますと40.9歳、また平均の団員歴につきましては、約6.2年で3期ぐらいの団員歴という形になっております。また、いわゆる勤務地団員と言われます、自宅が小金井市ではなく勤務先が小金井市という団員は、総勢66名の団員の中で新団員も含め2名という状況でございます。今回の団員の改選にあたりまして、まず市の取組みといたしましては、消防団員募集ポスターの掲示による広報をさせていただきました。また年末から3月にかけて、不定期ではございますが、武蔵小金井駅南口ロータリーのイベント用ポールに消防団員募集の懸垂幕を掲出させていただきました。また、1月の出初式式典の中でも団員募集の呼びかけをさせていただいたり、出初式の翌日が成人式ということから、成人式の配布物の中に、募集チラシを挟み込むというPRもさせていただいたところでございます。他にも地域と連携した東京学芸大学での消防団説明会や、COCOバスの車内広告、庁舎内や市の広報掲示板へのポスター掲示を行い、特に市のホームページの募集バナー掲載につきましては、これを見た市民の方から問合せを頂くなど、若干の反応を得たところでございます。新たな取組みといたしまして、商工会に依頼し、会員の皆様に募集用ポスターを掲載していただくように1,000枚の

ポスターを用意いたしました。また、観光まちおこし協会で管理しているアクウェルモール1階の配布棚や、武蔵小金井駅のコンコースにある配布棚にもチラシを置かせていただきました。また、各推薦委員の皆様にも、東京都消防協会や東京都から配布されたパンフレット・ポスター等をお渡しし、周辺に貼っていただくなど、対応をしていただいたところでございます。また、市の職員に対しての広報活動といたしまして、庁内広報誌の掲載による団員募集等の広報を行いました。結果的に、小金井市の職員につきましては、退団者1名、新規入団者1名となり、現在66名中3名という状況でございます。今年度からは新たに、新入職員への個別勧誘活動を実施しており、引き続き、職員の勧誘等を行っていきたくと考えております。事務局からの説明は以上でございます。

会 長：ありがとうございました。このことについてご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

委員各位：意見なし。

会 長：それでは議題2、「令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について」でございます。事務局より説明願います。

事 務 局：はい。事務局でございます。それでは、令和元年度常備消防費・非常備消防費決算につきまして資料5と資料6を一括してご説明させていただきます。それでは、まず、資料5の「令和元年度常備消防費・非常備消防費決算について」ご説明いたします。令和元年度の消防費の総額といたしまして、14億8,741万1,958円の支出となっております。その内、1の常備消防費の13億7,788万1千円は東京消防庁への消防事務委託金となっております。次に、2の非常備消防費でございます。こちらは主に消防団の活動や消防施設の維持管理に要する経費でございます。6,607万4,424円となっております。また、災害対策（・防災対策）に要する経費といたしまして、4,345万6,534円を支出し、昨年度の決算として計上したところでございます。その主なものといたしまして、昨年は東京都消防操法大会があり、小金井市消防団第2分団が出場し、3位入賞を収めたところでございます。その関係で操法用の資機材を購入いたしました。また、消防団設備整備費補助金という、国の補助金を活用しましてチェーンソーを各分団に1台、デジタル簡易無線機を50台購入し、各分団に7台ずつ配備したところでございます。続きまして、資料6の「令和元年度月別消防団員出動状況」についてご説明いたします。こちらにつきましては、昨年度の火災に関するもの、また訓練に関するもの、警戒に関するものがございますが、警戒というのは、ポンプ車により巡行をしていただくような広報活動等も含めているものでございます。1の出

動回数につきましては、それぞれの分団ごとの回数、2の出動人数につきましては、延べ何人出動したかを表すものでございます。資料の右下のほうをご覧くださいますと、昨年度は延べ6,511人の団員活動がございまして、概ね月平均一人7.6回程度の活動を行っていただいたこととなります。また、1回の活動につきましては、報酬とは別に、出動手当として3,800円支給しており、令和元年度の出動手当総額は、2,474万1,800円となっております。なお、各分団の出動回数等につきましては資料をご覧くださいただければと思います。簡単ではございますが、昨年度の決算状況につきましてもの説明とさせていただきたいと存じます。事務局からの説明は以上でございます。

会 長：ありがとうございます。この件についてご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

委員各位：意見なし。

会 長：それではこの件につきましては以上とさせていただきます。続きまして、議題3、「令和2年度消防費予算について」を議題といたします。事務局より説明願います。

事務局：はい。事務局です。それでは、資料7の「令和2年度消防費予算について」ご説明いたします。今年度の全体予算、一般会計予算につきましては435億2,700万円でございます。その中での消防費につきましては、15億1,697万6千円で、前年当初と比較しまして1,436万2千円の増というところでございます。一般会計の全体に占める割合としましては、3.5%でございまして、前年比で0.1ポイント増という状況でございます。続きまして、本年度予算の内訳でございます。(1)消防事務委託に要する経費が13億7,788万1千円、(2)消防団の詰所の維持管理や消火栓の改修等に使用する消防施設維持に要する経費が2,755万8千円、(3)消防団活動に要する経費が7,467万円、(4)防災、災害に関係します経費が3,605万円、(5)防災訓練に関係します経費が53万円、(6)国民保護対策に要する経費が28万7千円という状況でございます。続きまして、消防団に関係します主な事業について説明させていただきます。(3)のチェーンソープロテクターにつきましては、各分団に1着ずつ配備しまして、8月には講師を招き取扱い講習を実施しました。(4)の消防指揮車につきましては、平成17年に購入して以来、塗装の劣化等により今年度買い替えるものでございます。納車につきましては早ければ年内を予定しているところでございます。(5)の投光器、(6)の発電機につきましては、令和2年度消防団設備整備費補助金を活用し、それぞれ各分団に1台ずつ配備をさせていただいたところでございます。(7)の消防救急無線受令機についま

しては、平成29年度から10台ずつ購入し、今年度で幹部団員への配備が完了したところでございます。(8)の防災マップの作成及び配布につきましては、令和元年度に土砂災害警戒区域が指定されたことや東京都が作成・公表しております浸水予想区域図の改定に伴い、新たに作り変えたものでございまして、8月に全戸配布を行ったものでございます。主な事業についての説明を終了させていただきます。事務局からは、以上になります。

会 長：ありがとうございます。この件についてご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

渡辺委員：はい。

会 長：渡辺委員お願いいたします。

渡辺委員：今年度の予算に関しましては、以前の消防団運営審議会で提案させていただいた分団への備蓄食糧など予算化をしていただきましてありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響で先般小金井市消防団でもいろいろありまして、心配をしましたが大きなことにならなくて良かったなど思っております。詰所の例えば換気対策ですとか、コロナ関係の詰所における対策としてなにか今年度具体的に対応があったのでしょうか。また、例えば団員さんのPCR検査や抗体検査など、そういうものに対して公的にお金を用意して優先して検査を受けられるような形はとられているのかいないのかということに関して今年度の動きなどについてお知らせをいただきたいということと、今年度の出初式についてコロナ禍ということで東京都も相当凄いことになってきておりまして、ただ年に一度の大きな市民の皆さまにも消防団の雄姿を見ていただくためにもせっかくの機会であるわけですけれども、同時にコロナ対策をしっかりやらないといけないということもございまして、今のところどのような形で臨まれるのか、以上3点についてお伺いできればと思います。

会 長：それでは答弁に対する詰所の対策、団員の検査への対策、出初式については後ほど説明があるかと思しますので、まず2点事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい、事務局です。まずコロナ関係の詰所対策についてですが、ハード的な部分については特に今のところはやっていないという状況です。ただ、消毒用のアルコールやマスクは配布させていただいております。あと、体温計ですね。次に今年度の出初式については縮小するという形をとっております。来賓の方々のご挨拶をカットさせていただいたり、また時間についても例年より短く1時間ちょっとで行う予定です。主だったところですと一斉放水は行なう予定ですが、今後のコロナ関係の状況によっては少

し形を変えていくところもあるのかなと考えているところでございます。検査については特にございません。以前新型インフルエンザが流行った時ですね、ワクチンの優先的な接種というお話がありましてその時には確か態勢を整えた記憶がございますが、今回のコロナのワクチンについては上からの通達もないので実施していない状況です。以上です。

渡辺委員：ありがとうございます。まず詰所のハード的な対策はないということですが、どういう風にできるのか各詰所の形状によっても違うと思えますけれども、とれる対策があるのなら是非検討していただきたいと申し上げます。あと検査に関しては新型インフルの時には優先接種ということがあったということですがコロナについてはそこまで行きついていないということですが、大変頑張っていたら団員の皆さまですのでは是非優先的にそういうものを受けられて安心して活動に取り組まれるということであれば、ある意味で団員さんへの福利厚生にもなることなのでご検討を是非お願いしたいところでございます。出初式の件はわかりました。以上です。

会長：ありがとうございます。他にございますか。無いようですのでこの件については以上となります。続きまして議題4、その他について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい。事務局より令和2年度の消防団の主な活動状況につきまして、口頭にてご報告をさせていただきます。令和2年度の消防団の主な活動状況につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響がございまして、水防訓練の中止ですとか、東京消防庁主催の団員向けの各種研修ですとか、各種団体の総会等の中止が相次いでいるところでございます。そのような中ではございますけれども、新体制のもと例年市内の小中学校で実施しておりました教官派遣訓練につきまして、東京消防庁の消防訓練所で初めての試みとして実施させていただいたりですとか、チェーンソーの取扱いの訓練を実施するなど通常の訓練に加えまして新たな取組みも行ったところでございます。また、規律訓練ですとか運転訓練を市役所の本庁舎駐車場で行ったことによりまして、市民の方の目に触れる機会を新たに創出することもできたところでございます。今後も消防団と事務局並びに消防署と連携を図りながら、組織の防災力の向上を図って参りたいと考えているところでございます。それから今後の主な活動につきましてですけれども、先ほど市長と担当の方から話がございましたが、まず11月15日の日曜日に火災予防運動市内巡行広報を行う予定でございます。それから12月28日と29日の2日で歳末特別警戒を実施する予定でございます。それから1月10日の日曜日に出初式を予定しているところでございます。なお、

先ほどありました出初式につきましては規模を縮小しまして、時間も少し短縮したような形で実施させていただく予定でございます。各消防団の活動につきましては事務局にて市のホームページですとか、ツイッターを通じまして引続き市民の方へ周知してまいりたいと考えているところでございます。以上です。

会 長：ありがとうございました。この件につきましてご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。

田村委員：はい。よろしいでしょうか。

会 長：はい。田村委員お願いします。

田村委員：今の事務局の説明のとおりなのですが、消防団といたしましては新型コロナウイルスの拡大で各学校を借りられないという時期が長かったので、でも災害はコロナ関係なくあってしまうものなので訓練もしなければいけないということで、市役所の駐車場を活用させていただきました。今までやったことのない訓練も盛り込みたい気持ちもありまして、駐車場を活用して行ってきました。先ほど事務局から話がありましたけれども、市民の方が立ち止まって見てくれたという機会もあって、思わぬ効果もあったのかなと思います。活動に関しては、今団員には詰所では長時間いないようにということを心掛けていただいて、指令を出しています。詰所にいるときには換気をするようにということを促しています。広報活動に関しても窓を開けてなるべく換気をするようにしてもらっています。また、事務局の説明に一点足りない点がありまして、歳末特別警戒ですけれども、今年度は新型コロナウイルスの拡大もありますし、私が団長に就任する前から前団長とも調整をしまして、歳末特別警戒を3日間ではなく2日間で行いたいという希望がありまして、今年新型コロナウイルスのこともあり2日間で行うつもりでございます。出初式に関しては説明のとおりです。ありがとうございます。

会 長：ありがとうございました。私からちょっと聞かせていただきたいのですが、歳末特別警戒を2日間で行うというのは今後ずっと2日間にするというような認識でよろしいでしょうか。

田村委員：はい。このことについては前団長や歴代の団長とも調整をしてきました。また、今の幹部団員とも私が団長に就任する前にこういう意向であると、私が就任したらこういう風にしたいというお話をさせていただいて、新型コロナウイルス関係なく団員の負担を考えると個人事業主の団員だけでなくサラリーマンもとても多いものですから、そんな中で年末に3日間拘束するというのがとても負担になるのではないかなと思っておりまして、2日間にできればいいかなというのを今まで言ってきました。来年以

降も私はそのつもりでいます。

会 長：ありがとうございました。他にこれに対してご意見、ご質問はありますでしょうか。

當麻委員：よろしいでしょうか。

会 長：はい。當麻委員お願いします。

當麻委員：歳末特別警戒の時ですけれども、巡行はされるんですね。

田村委員：はい。

當麻委員：その巡行している間は例年だと22時から23時くらいまで詰所に団員がいるんですけども、その間の巡行に行っている以外の団員は詰所で待機になるのでしょうか。

田村委員：はい。分団の人員配置については各分団に任せていまして、私から必ず全員というような話はしていません。なので集まれるだけ集まってほしいというふうにしているところですから、巡行以外の団員がいる場合には詰所に待機という形になっています。

當麻委員：歳末特別警戒の初日の日に各分団に陣中見舞いで市長と消防署の方々が来られますよね。事務局の方々と。

田村委員：はい。

當麻委員：それは例年通りやるってということですか。

田村委員：それは28日に例年通り行います。

當麻委員：わかりました。それによつては団員だけじゃなくて消防団のOBとか自治会町会、後援会へ陣中見舞いという形で来てもらっていたのでその辺の対応も後援会としてもしないといけないものですから。ありがとうございました。

田村委員：28日は例年と同じ形で周るつもりでいます。例年29日、30日に関しては本団の方で2個分団、3個分団という形でここ数年は分けさせていただいて周っていたと思いますが、それを29日に全分団周ります。ただし詰所前に伺って、分団長に人員報告をしていただくという形で我々はすぐ次の分団に向かうというように考えております。

當麻委員：やはり3密を避けなければならないので後援会としても最低程度で、誰もいないというのも失礼になってしまうので、その辺の対応をどうしようかなと考えていたので。ありがとうございました。

田村委員：はい。よろしく願いいたします。

会 長：ありがとうございました。以上でよろしいでしょうか。それでは、本日の会議は以上で終わりたいと思います。大変貴重な時間を費やしていただきまして、どうもありがとうございました。

委員各位：ありがとうございました。

